

トピック ― 果菜類の生産動向と野菜指定産地 ―

これから夏に向けて消費の機会が増える野菜の一つに果菜類（きゅうり、なす、トマト、ピーマン）があるが、その最近の生産動向（平成15年～24年）を紹介する。

作付面積は、この10年間で、きゅうり▲17.7%、なす▲17.8%、トマト▲9.1%、ピーマン▲9%といずれも減少しているが、トマトやピーマンは減少幅が相対的に小さい。

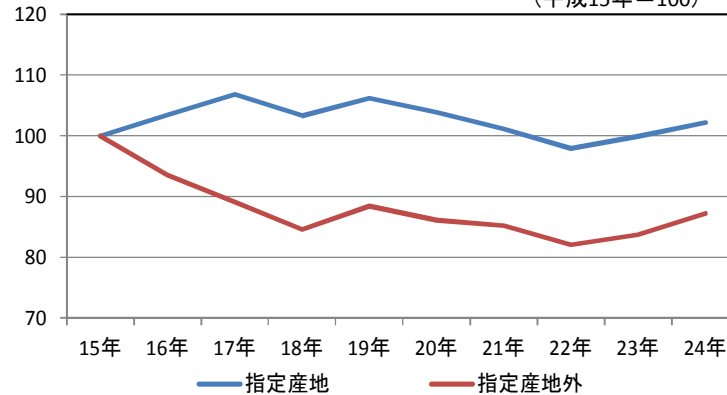
出荷量も、きゅうり▲13.5%、なす▲15.7%、トマト▲3.7%、ピーマン▲2.6%と減少しているが、いずれも作付面積ほどは減少していない。その要因には生産技術の改良等に伴う単収増もあるとみられる。

また、トマト、きゅうり、ピーマンの出荷量の推移（平成15年＝100）を、野菜の指定産地（当機構が実施する指定野菜価格安定事業の対象産地）、指定産地外別にみると、指定産地は減少幅が小さく安定的であり、ピーマンでは出荷量が増加している。さらに、トマトの作付面積は、最近では指定産地が指定産地外を上回る状況にある。

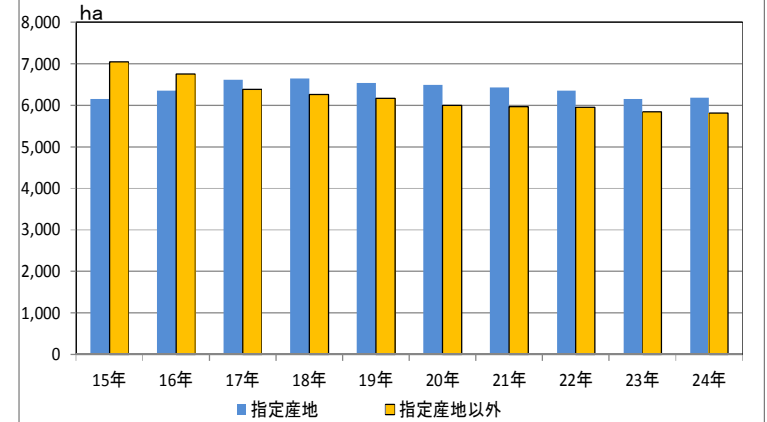
野菜の国内生産はすう勢的には減少傾向にあるが、指定産地では、出荷団体等による生産振興、計画的出荷、品質向上等の取組が推進されており、指定野菜価格安定事業と相まって、産地の維持・形成が図られているとみられる。

トマトの出荷量の推移

(平成15年＝100)

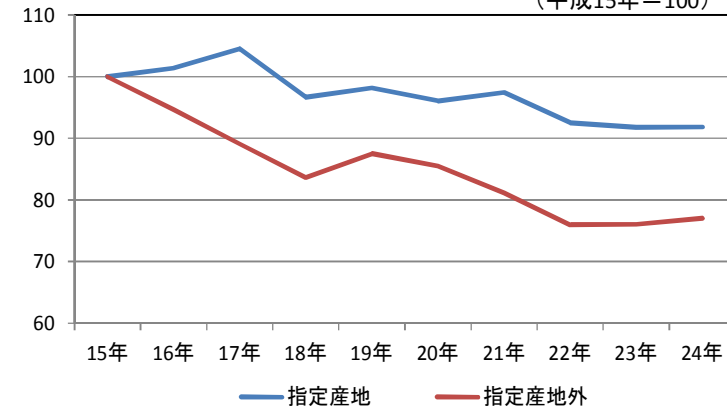


トマトの作付面積の推移



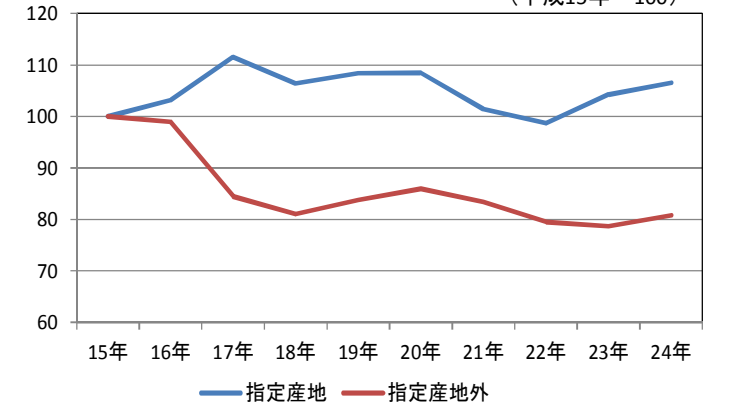
きゅうりの出荷量の推移

(平成15年＝100)



ピーマンの出荷量の推移

(平成15年＝100)



注：トマトの出荷量と作付面積にはミニトマトを含む。

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 河原、斎藤、鈴木 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。

◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はページ下のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。

★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html に掲載しています。